

生産者の皆さんへ

新規就農であれ、慣行栽培からの転換であれ、有機の生産者が育てた作物が余すことなく消費者の元に届けられ、喜んでもらえることが次の生産への意欲につながります。生産が軌道に乗っても、それを食べ支えてくれる消費者を探すのに、どこの生産者も苦労しています。とりわけ、都市から離れた地域で有機農業をスタートした生産者にとっては、その売り先や消費者の確保は大問題。

一方、消費者からは、安心して食べられる野菜や米が欲しいのになかなか手に入らないという声が届きます。

そんな両者をつなぐお手伝いをし、有機農業を応援したい、それが私たちの願いです。

新人もベテランも、一人でも多くの生産者がこの取り組みに参加されることを期待しています！



生産者の皆さんも 消費者の皆さんも ふるって 日有研「架け橋事業」に ご参加ください！

私たちは50年ほど前から近代農業の弊害を深刻に受け止め、農薬や化学肥料に頼らず作物を健全に育てていく有機農業を提唱してきました。人や家畜の健康は食べ物である作物の健全性と直結しています。二人に一人が癌に罹り、子どもたちの発達障害が増える今日、有機農業の拡大は急務です。

「架け橋事業」は、「提携」を広げ、有機農業を広げる取り組みです。たくさんの参加者があれば、たくさんの関係を生むことができます。生産者も消費者も、積極的に名乗りを上げてください！

日本有機農業研究会

TEL.03-6265-0148 FAX.03-6265-0149

Eメール:info@1971joaa.org

消費者の皆さんへ

私たちの身の回りには、化学物質があふれ、食べ物の安全性にも不安がいっぱいです。

中でも深刻な農薬や、遺伝子組み換え・ゲノム操作の影響。これらの危険は、食べ物を有機のものに変えることで回避できます。デトックス効果も期待でき、子どもたちを守る有効な方法です。どうやって入手すればよいかわからないという場合も、「提携」という方法があるから大丈夫！日有研にご連絡ください。生産者と直接つながり、新鮮な有機野菜や米が定期的に届く仕組みです。

食べ物を介して、生産者と消費者が信頼関係を築き、互いの生活を支えます。

周りの方たちにも声をかけ、一緒に仲間を増やしましょう！

